

茶情報

No. 178号 令和4年2月1日

発行所 三重県茶業会議所

三重県津市桜橋1丁目649番地

三重県農業共済組合 桜橋会館内

TEL (059) 226-8551

FAX (059) 227-9654



新春メッセージ

三重県知事 一 見 勝 之

令和4年の年頭に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

茶業会議所の皆様には、日頃より、伊勢茶の産地振興と普及にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症が、県民の皆様の生活や経済活動など各方面に大きな影響を及ぼしています。茶業界をはじめ県民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止対策にご尽力いただいているところですが、引き続き、感染防止に留意した対応にご協力いただきますようお願いします。

さて、本県は、隣接する京都府とともに、古くから茶産地が形成されてきており、生産される茶は、静岡県、鹿児島県に次ぐ全国第3位の量を誇り、本県の主要な農産物となっています。

しかし、消費者のライフスタイルの変化等を背景に、リーフ茶の消費が減少傾向となる中、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が加わるなど、茶業界を取り巻く状況は厳しいものとなっています。

こうした状況を踏まえ、本県では、平成23年に策定した「三重県茶業振興の指針（平成25年一部改定）」を全面的に見直し、新たな「伊勢茶振興計画」を策定いたしました。

新たな伊勢茶振興計画では、生産・流通体制の強化による茶生産者の「所得向上」と伊勢茶の「消費拡大」の取組を両輪で進めていくこととしています。

「所得向上」の取組としては、茶生産者それぞれの経営発展の方向に沿ったきめ細かな支援として、低コスト化や省力化を図るためのスマート技術の導入や、経営の複合化に向けた野菜など新たな品目の導入、販売機会の拡大に向けた国際水準GAPや有機JASの認証取得などを進めることとしています。

また、「消費拡大」の取組としては、ティーバッグを活用して手軽に伊勢茶を楽しむスタイルを提案する「伊勢茶マイボトルキャンペーン」の推進や、茶生産者だけでなく、飲食店や観光事業者などと連携しながら、県民の伊勢茶に触れる機会の拡大、伊勢茶産地の歴史や食文化に

目 次

1、新春メッセージ	1
2、会頭挨拶	2
3、令和3年度主要行事等の実施状況	3
4、伊勢茶振興計画～愛ある伊勢茶元気プラン～について	4
5、茶改植等支援事業について	7
6、燃油価格高騰緊急対策事業の再実施の検討について	7

7、トピックス	学生が伊勢茶に興味津々 ～伊勢茶が研究題材に～	8
	第73回関西茶業振興大会奈良県大会	8
	日本茶業中央会茶業功績者表彰を伝達	9
	手もみ製茶技術研修会の開催	9

関する情報発信、食育活動などを進め、県民の皆さんの伊勢茶への愛を深めることとしています。
今後とも、市町やJA、茶業関係者などと連携しながら、伊勢茶産地の振興に取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。



会 頭 挨拶

三重県茶業会議所 会頭 鎌 田 隆 郎

明けましておめでとうございます。

茶業関係者の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から三重県茶業会議所の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、去年の茶の状況は、コロナ禍の厳しい状況のなかであっても、国の茶販売促進緊急対策事業の実施など関係各位の努力により、生産面、価格面ともに一昨年に比べての改善は見られましたが、第5波とされた8月～9月の全国的な感染拡大や新たな変異株の発生などにより、本来実施すべき事業やイベントが中止あるいは縮小・制限され、関係者の心理としては、ウィズコロナ、アフターコロナの世界まで未だ至っていないのが現状と考えています。

しかしながら、配付したお茶を試飲された方から寄せられた「こんなおいしいお茶は初めて飲んだ。」「伊勢茶はどこで買えるのか。」「新たな商談をしたい。」等消費者、実需者の声や収入保険、次期作支援交付金など活用しながら茶園の改植等の今後を見据えての経営改善努力する生産者の姿は、茶業界に希望を与えるとともに、私たちの背中を押してくれているように感じられます。

県や県議会、関係市町から、本県茶業界を積極的に支援、応援いただいていることにも感謝しています。

当会議所としても、こうした期待に応えるべく、県内で伊勢茶を試飲・体験できる案内マップの作成に伊勢茶認証店等と連携して取り組むとともに、産地の維持・発展を目指して本年度見直された三重県の「伊勢茶振興計画」の実現に向けて組織あげて協力していきたいと考えています。

本年は、ワクチンの効果を多くの方が実感するなか3回目接種の手当てが進み、徐々に経済活動への制約が薄らぎ、まさしくウィズコロナの世界で、販売や宣伝等が展開されることが予想されます。

茶業界は、本年も引き続き大変厳しいものがあるとは思われますが、新たな潮流をしっかりとつかみ、関係者一同一丸となり、消費者の皆さんに安全で安心な伊勢茶を飲んでいただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今年こそ茶業界にとりまして輝かしい発展の年になりますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年度主要行事等の実施状況

新型コロナウイルス感染防止のため多くの行事が縮小・中止となりましたが、感染対策を実施して一部の事業は実施できました。

(総会・役員会)

- ・監査 令和3年6月1日(火) 農業共済組合桜橋会館
- ・総務理事会 令和3年6月8日(火) 農業共済組合桜橋会館
- ・総会 令和3年6月28日(月) 書面決議 会頭・副会頭 三重茶農協
- ・第1回役員会 令和3年11月9日(火) 農業共済組合桜橋会館

(行事)

- ・伊勢神宮新茶奉納 令和3年4月20日(火) 会頭、手もみ茶保存会会長等10名
- ・伊勢神宮伊勢茶接待所開設 神宮司庁と相談の結果中止
- ・高校等お茶の淹れ方教室 実施直前(1月13日～)になって感染拡大により中止
(急須等配付のみ)

(品評会)

○伊勢茶品評会及び伊勢茶振興大会 中止

○第73回関西茶業振興大会 奈良県大会

・品評会審査会

令和3年8月3日(火)～5日(木) 奈良県農協広域茶流通センター(都祁白石町)
三重県出品数 四日市14点 鈴鹿4点 松阪63点 大台32点 度会7点 計120点
(普通煎茶40点 深蒸し煎茶63点 かぶせ茶17点)

特別賞入賞者

農林水産大臣賞	深蒸し煎茶	(有)深緑茶房	仁田 勲	(松阪市)
農林水産省生産局長賞	深蒸し煎茶	(有)深緑茶房	高尾 哲也	(松阪市)
	かぶせ茶	(有)萩村製茶	萩村 浩史	(四日市市)
(公社)日本茶業中央会長賞	深蒸し煎茶	マル友製茶	青木 昌代	(松阪市)
全国茶生産団体連合会長賞	深蒸し煎茶	マル友製茶	青木 大治	(松阪市)
全国茶商工業協同組合連合会理事長賞	深蒸し煎茶	広地製茶	廣地 順子	(松阪市)

産地賞 第1位 深蒸し煎茶 松阪市

第1位 かぶせ茶 四日市市、第3位 かぶせ茶 鈴鹿市

・入札販売会 令和3年9月2日(木) 奈良県農協広域茶流通センター(都祁白石町)

・大会式典 令和3年11月6日(土) 奈良県コンベンションセンター

品評会受賞者に加え、功労者表彰を当会議所前会頭 田中利宣氏と、三重県茶商工業協同組合前理事長 原 昭義氏(故人)が受賞

○第75回全国お茶まつり埼玉大会

・品評会審査会 令和3年11月16日(火)～19日(金) (株)静岡茶市場(静岡県)

三重県出品点数 四日市23点 大台7点 計30点

(煎茶10kg 1点 煎茶4kg 7点 かぶせ茶 18点 玉露 3点 碾茶 1点)

・入札販売会 令和3年11月27日(土)～28日(日) (株)静岡茶市場(静岡県)

・大会式典等 中止(審査技術競技大会も中止)

伊勢茶振興計画**～愛ある伊勢茶元気プラン～について**

本年度、三重県が策定した伊勢茶振興計画の概要を以下のとおり紹介します。

県からいただいた資料から抜粋して整理させていただきましたが、一部順序を変更して記載しています。

1 計画の基本的な考え方**(1) 新しい計画の策定趣旨**

平成23年策定（平成25年一部改定）の「三重県茶業振興の指針」について、これまでの成果や課題、茶業を取り巻く情勢の変化などを踏まえ全面的に見直し、伊勢茶振興に向けた新たな計画として策定

(2) 計画の期間

令和4年度～13年度の10年間。概ね5年毎、また情勢の変化等を踏まえ、見直す。

2 本県茶業のめざすべき姿と基本的な取組方向**(1) めざすべき姿の考え方**

持続可能で元気な茶業の実現と県民が誇りに思える伊勢茶産地づくりに向け、次の姿の実現をめざす。

◇意欲ある茶業経営体がそれぞれの実情に応じた経営戦略に基づき、安定した収益を確保するとともに、実需者ニーズに的確に対応できる流通体制が整備され、海外も含めて販路が拡大している姿。

◇県内において、飲用のための伊勢茶の商品が拡大するとともに、伊勢茶を活用した加工品や料理、サービスなどの提供を通じて、県民の伊勢茶への愛が深まり、伊勢茶の消費が拡大している姿。

(2) 基本的な取組方向

めざすべき姿の実現に向けた取組方向として、経営体の「所得向上」と伊勢茶の「消費拡大」の両輪で取組を進めます。

◇経営体の育成と販路拡大に加え、消費拡大を通じて将来高まる県内需要の獲得により、経営体の「所得向上」につなげます。

◇まずは、県内での日本茶の「消費拡大」に取り組み、開拓した日本茶需要を伊勢茶の需要に転換していきます。

3 具体的な取組内容**取組方向Ⅰ－1 伊勢茶産地の将来を担う経営体の育成と販路の拡大****①持続可能な経営体の育成**

○製茶工場の有無や経営面積、販売体制などそれぞれのタイプに応じた経営体の育成
＜低コスト大規模経営＞茶園の集約化等による低コスト化

☆「人・農地プラン」、農地中間管理事業を活用した茶園の集積・集約化
・芽売り農家との連携強化による計画的な栽培管理

＜自販等多角化経営＞高付加価値化による収益向上

- ・ 特長のある品種の導入による、リーフやティーバッグ商品、加工品の開発の促進

＜他品目との複合経営＞他の品目の生産とあわせた経営の継続

- ☆ JA 等と連携し、野菜などの新品目における共同出荷体制の構築

②新規就農者や多様な担い手の確保・育成

- ・ 法人等の経営者への労働環境や人材育成体制の整備に向けた人づくりの意識啓発
- ・ 就業フェア、インターンシップ等を活用した新たな担い手確保及び研修技術支援等による就農者の定着化支援
- ・ 次代を担う経営者を育成する人材育成
- ・ 農繁期における労働力不足に対応する多様な働き手（若者や女性、障がい者、兼業・副業者など）を活用する仕組みの構築

③生産効率の高い生産基盤づくり

- ☆ 茶園の集約化に合わせた改植、新品種の導入推進

- ・ 契約栽培を活用した生産者に対する栽培技術支援
- ・ 国事業活用による、老朽化した茶園管理機や工場機械の計画的な整備支援
- ・ 研究開発、実証普及を通じたスマート技術による茶園のリモート把握、生育・摘採・防除適期予測の取組推進

- ☆ 茶業経営の継続に向けた、他作物の導入促進

④多様なニーズに対応できる生産体制の整備

- ☆ 消費者ニーズに対応した、簡便な形で飲めるティーバッグ、粉末茶等の商品開発の促進

- ☆ 海外向け防除の確実な実施にむけたゾーニングやローテーション防除の実証推進

- ・ 有機栽培茶生産の拡大に向けた、省力的な栽培技術の実証推進
- ・ 国際水準GAP 認証における、内部統制機能の向上を図る団体認証の取得及び、栽培履歴等情報整理のRPA 化の推進

取組方向Ⅰ－２ 伊勢茶の国内外への流通販売体制の強化

①市場の活性化や国際認証を生かした伊勢茶の取引拡大

- ・ 市場価格の維持・向上を図るための市場の活性化に向け、取引方法や市場の集約化も含めた運営方法の合理化について検討
- ・ 既存取引先への販売拡大や販路拡大等市場の幹線強化の推進
- ・ 国際水準GAP や有機JAS 認証の取得推進

②輸出の拡大に向けた流通販売体制の整備

- ☆ 輸出向け防除により生産された茶の情報を包括的に把握する仕組みなど、輸出に即応できる体制づくりを推進

- ☆ 輸出事業者と連携した伊勢茶輸出プロジェクトによる新たな海外販路開拓を通じた、産地からの直接輸出体制の構築

取組方向Ⅱ 県民運動による伊勢茶の消費拡大の推進

①茶業関係者が総力をあげた県内での消費拡大

- ☆ 県職員やJA 職員、三重県茶業会議所等の伊勢茶営業マンによる消費拡大運動の展開

- ☆ 様々な機会をとらえた県民への情報発信による、伊勢茶の露出拡大

②消費者のライフスタイルの変化に合わせた茶の楽しみ方提案

- ☆ ティーバッグ等マイボトルの活用につながる商品や、伊勢茶を活用した新たなサービス

の開発を促進

☆伊勢茶の楽しみ方等を積極的に発信する「伊勢茶アンバサダー」の活動促進による県民の伊勢茶への愛着度の向上

- ・産地と消費者との交流を図るお茶ツーリズムの促進
- ・カテキンなどお茶に含まれる機能性に注目した商品開発の推進

③小売店、飲食店等と連携した地産地消の推進

☆県内量販店や伊勢茶認証店等と連携し、継続的な伊勢茶PRの実施

- ・飲食店や観光事業者等との連携による、飲用としての伊勢茶の提供や、伊勢茶を活用した料理、サービスの提供の促進

④県外における伊勢茶の認知度向上

- ・三重テラス等において県外の消費者に対し、伊勢茶の魅力を発信
- ・県外のホテル、レストラン、交通関連企業など様々なチャンネルを活用した消費者の認知度向上

⑤食育活動の推進

☆茶文化継承と家庭でお茶に親しむ習慣づけに向けた子どもを対象にしたお茶の淹れ方教室実施

- ・小学校の児童等に対し、品質の高いお茶産地としての誇りを醸成する地域産業としての伊勢茶を学習する機会の拡大

⑥伊勢茶の歴史・文化を通じた茶の魅力発信

- ・歴史や食文化を生かした商品やサービスを創出する取組支援
- ・博物館など文化施設を活用した伊勢茶の歴史・文化の発信

「☆」は短期集中的に取り組む重点課題であり、1 産地構造改革、2 伊勢茶輸出促進、3 消費拡大県民運動の3つのプロジェクトを設置して取り組むこととされています。

3 目標指標

◎茶の認定農業者のうち、他産業従事者と同程度以上の農業所得がある者の割合

現状 35.8% (R2) → 目標 (R13) 60.0%

○茶園の将来の利用についての具体的な合意形成が図られている集落数

現状 3集落 (R3) → 目標 (R13) 53集落

◎直近3か年の1世帯あたりの茶の平均購入量 (3か年は暦年により計算)

現状 1,137g (R2) → 目標 (R13) 1,610g

○伊勢茶の消費拡大に協力していただく店舗・事業者数

現状 422箇所 (R3) → 目標 (R13) 700箇所

4 計画の推進体制

計画に基づく取組については、県をはじめ、三重県茶業会議所、三重茶農協、JA全農みえ、JA、市町などが連携し、オール三重で推進する。

なお、伊勢茶振興計画本冊については三重県ホームページ (<http://ss140094/NOUSAN/HP/p0029200019.htm>) に掲載させていただいております。

茶改植等支援事業について



茶業会議所が事業主体となっている茶改植等支援事業について、本年度実施していない茶業組合員の方から相次ぎ問い合わせがありましたので改めて紹介させていただきます。

茶経営を維持、発展していくためには、改植や台切り、新植等茶園管理は重要であり、順次定期的に行われてきました。その際の課題は、未収益（摘採出来ない）期間が生じることになり、その対応が必要です。

また、最近では、茶園の集約化も進められていることから、その機会に改植等と茶園整理が一体的に行われるケースも増加しています。

さらに、新たな需要に対応するため、覆い茶（かぶせ茶、玉露、てん茶）への転換や新品種の導入、有機栽培への転換、輸出対応等、栽培方法の転換に取り組む生産者等も見られます。

このような取り組みを支援するのが茶改植等支援事業で、取り組む内容毎の面積に応じて、国から補助金が交付されるしくみとなっています。（下記単価表を参照）

この事業は、生産者グループ単位（原則、茶業組合単位）での実施が基本となることから、本県では比較的組合員の多い茶業組合が継続して実施してきましたが、今後は少しでも多くの組合員が補助金を受けられるよう関係者と協議していきたいと考えています。

今後、2月～3月に来年度分の国の公募が行われ、合わせて各茶業組合を通じて、要望調査を行うこととなりますのでそれまでに検討いただきたいと思います。

（参考）改植等の補助金単価（令和3年度）

支援内容	10アール当たり単価
(ア) 改植に伴う未収益支援①	141,000円
(イ) 改植に伴う未収益支援②	181,000円
(ウ) 棚施設を利用した栽培法への転換に伴う未収益支援	40,000円
(エ) 台切りに伴う未収益支援	70,000円
(オ) 改植支援	152,000円
(カ) 新植支援	120,000円
(キ) 茶園整理①	50,000円
(ク) 茶園整理②	80,000円
(ケ) 棚施設を利用した栽培法への転換に必要な資材の導入	100,000円
(コ) 直接被覆栽培への転換に必要な資材の導入	100,000円
(サ) 有機栽培への転換	100,000円
(シ) 輸出向け栽培体系への転換	50,000円
※同時取組も可能	
例 (ア) 未収益支援と (オ) 改植支援 で	293,000円
(エ) 台切り未収益支援と (サ) 有機栽培転換	170,000円

燃油価格高騰緊急対策事業の再実施の検討について



令和2年度まで実施していました国の燃油価格高騰緊急対策事業につきましても今後の燃油価格の状況によっては、再実施すべく準備を進めています。

トピックス



学生が伊勢茶に興味津々 ～伊勢茶が研究題材に～

本年度も4月から何組かの大学生が研究活動の一環として茶業会議所に訪問してくれました。

地理を専門とする学生が四日市市水沢町の地形からアプローチして、茶産地の成り立ちや今後を考察、環境学が専門の大学院生が松阪市飯南町、飯高町の地域ブランドを考察、地元三重大学のグループが、かぶせ茶のブランディングについて考察するなど、幅広い分野から伊勢茶に興味を持ち、課題解決のために調査研究してくれていることはありがたいことと捉え、出来る限り協力しています。

学生達の議論では、静岡県や鹿児島県等他産地の調査を踏まえた比較や伊勢茶ブランド化のためのこれまでの取組に対する評価などストレートな質問も多く、対応する側としても改めて考えさせられる機会となっています。

今後、研究成果等が届くと思いますが、厳しい現状に光明がさすような提案があることを楽しみ待っているところです。



第73回関西茶業振興大会奈良県大会

11月6日（土）奈良県コンベンションセンターで第73回関西茶業振興大会奈良県大会が開催されました。

コロナ禍、昨年度は中止となり、今年度は例年よりは大会規模が縮小されましたが何とか開催され、本県からも深蒸し煎茶の部 農林水産大臣賞受賞の深緑茶房 仁田 勲氏、産地賞受賞の深蒸し煎茶の部

松阪市、かぶせ茶の部 四日市市、茶業功労者表彰受賞の田中 利宣氏、原 昭義氏（故人）代理が壇上にて表彰されました。



農林水産大臣賞受賞者として並ぶ
(有)深緑茶房 仁田 勲氏（左から2人目）



功労者表彰の田中 利宣氏（左）と
原 昭義氏の代理 原 辰徳氏

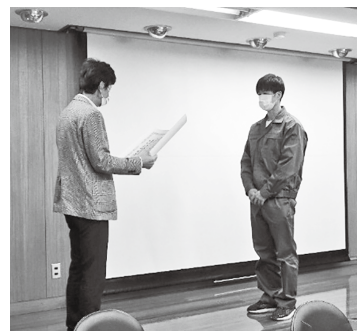


産地賞の松阪市、四日市市

日本茶業中央会茶業功績者表彰を伝達

茶業会議所前副会頭、県茶商工業協同組合前理事長 原 昭義氏（故人）が日本茶業中央会茶業功績者表彰を受賞しました。

この表彰は、本来であれば全国お茶まつりの大会式典のなかで行われるものですが、本年度式典が中止になりましたので、11月9日に開催した第1回役員会の開催に先立ち伝達表彰を行いました。



手もみ製茶技術研修会の開催

三重県手もみ茶技術伝承保存会主催の手もみ製茶技術研修会が12月3日開催されました。

手もみ茶技術伝承保存会は、「日本古来の手もみ茶技術は現在の近代製茶の基本を成すもので、この技術を消滅させることなく子孫に伝えることは近代製茶の発展の上で極めて重要なことである。」との認識のもと、会員（約30名）を対象に定期的に研修会を開催し、手もみ茶技術の修得、伝承保存に努められています。

蒸し工程から乾燥工程まで「手もみ製茶」の全工程で8時間以上かかる長丁場の研修ですが、きめ細かい指導により、講師から研修生に一つ一つ技術が伝承されました。



伊勢茶に寄り添うパッケージ

伊勢茶シール等の既製品が出来ました。

御銘茶

伊勢茶

伊勢茶

緑茶

ほうじ茶

新茶カタログご希望のお客様はお気軽にお声がけください。

株式会社 **村幸** 三重県総代理店

〒515-0025 三重県松阪市和屋町330-4 TEL(0598)28-2250 FAX(0598)28-4778

詳しくはホームページで <https://murako-packs.com/>

大事な茶樹を病虫害から守る！！

三重県農薬商業協同組合

理 事 長 中 村 剛 明

副 理 事 長 青 木 貴 行

副 理 事 長 加 藤 眞 八

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地
T E L 059－225－7617
F A X 059－225－5341

おいしいお茶に最適の肥料を！！

三重県肥料商業組合

理 事 長 加 藤 眞 八

副 理 事 長 九 鬼 十三男

副 理 事 長 今 谷 勝

常 務 理 事 丹 羽 通

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地
T E L 059－225－5341
F A X 059－225－5341

OCHIAI もっと手早く、高度な作業。さあ、あなたの茶園に確かな未来を築こう。



NEW

乗用型摘採機 (コンテナタイプ)

OHC-11VB・33VB型

■コンテナ容量／11VB型：2.2㎡、33VB型：2.8㎡

ト Vブローブラシ方式により
高速摘採が可能に!
大容量コンテナ摘採機!

NEW

乗用型摘採機 (コンテナタイプ)

OHC-5DVBⅡ型
(低床タイプ)

■コンテナ容量／1.6㎡

傾斜地に強い!
低い運転席で
バッグンの安心感!



茶摘機・茶園管理機



落合刃物工業株式会社

本社・工場／静岡県菊川市西方58 ☎(菊川)0537-36-2161 (代)FAX35-4643
関西亀山営業所／三重県亀山市布気町字山之下1500 ☎(亀山)0595-82-0505
九州福岡営業所／福岡県八女市大字室岡449-1 ☎(福岡)0943-25-7010
九州鹿児島営業所／鹿児島県霧島市溝辺町崎森2958-1 ☎(鹿児島)0995-64-1122
<http://www.ochiai-1.co.jp/>

2005 750

KAWASAKI

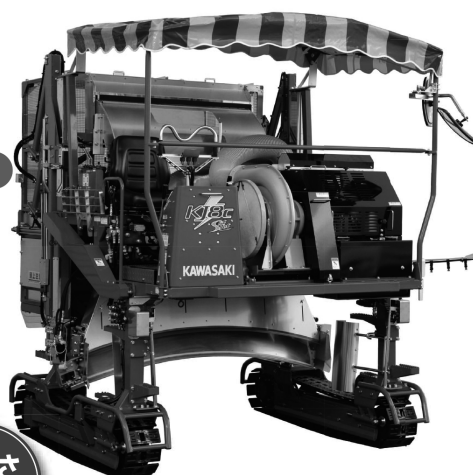


新型コントローラー搭載の乗用型防除機でスマート農業に対応!

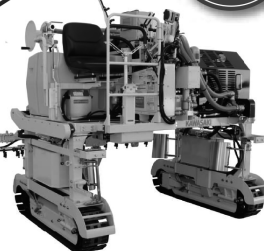
New!!
KJ8c
KJ8C-SJ SF



●新型コントローラ画面

刈高さ
データ

KJ54

散布量
データ

スマート農業対応の摘採機や防除機を使用して茶園作業をすれば、自動的に作業情報がクラウドに送信されます。

Agrion × KAWASAKI

農業日誌アプリ **Agrion**生産
記録

農業日誌アプリ『アグリオン』と連携し、スマホで作業の登録確認ができます!

茶園で今から行う作業の内容を入力できます。摘採・更新・施肥・防除・深耕など茶園の管理作業を茶園でスマホに入力できますので、入力忘れを無くすことができます。

昨年の作業内容や他の茶園の作業内容と比較することも簡単です。別の場所で作業をしている方の作業内容もリアルタイムで見ることができます。もちろん自宅のパソコンで見することも可能です。



※Agrionはライブリッツ株式会社の農業日誌アプリです。

※Agrionの詳細はQRコードで

登録した作業データをクラウド経由でデータキーパーに送信できます!

アグリオンからデータを取り込めますので、トレーサビリティのデータの再入力が必要ありません。

カワサキ機工株式会社

本部 〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 810-1 TEL 0537-27-1791 FAX 0537-27-1716